

国際動向報告

～環境ラベルにまつわるISO動向～

2015.02.26



Japan Environmental Management
Association for Industry

一般社団法人産業環境管理協会

Copyright(C)2015 JEMAI All Rights Reserved

環境ラベルに関して注目しておくべきISO国際規格

ISO 14025 タイプⅢ環境ラベル	本年、定期見直しが行われたが、見送り(Confirm)となったため変更はなし。次回の見直しは2020年。 <p style="text-align: right;">エコリーフ環境ラベル 準拠</p>
ISO/TS 14067 カーボンフットプリント	①定期見直し:2016年 <u>継続か廃止か、IS規格に格上げか?</u> ②ただし、2016年の定期見直しを待たずに、 <u>2015年中にIS規格への格上げするための新規提案(NWIP)の可能性もあり。</u> <p style="text-align: right;">CFPコミュニケーションプログラム 準拠</p>

■2014年5月(パナマ会合)にて新規提案があがり、以下の2点の検討が進められています。

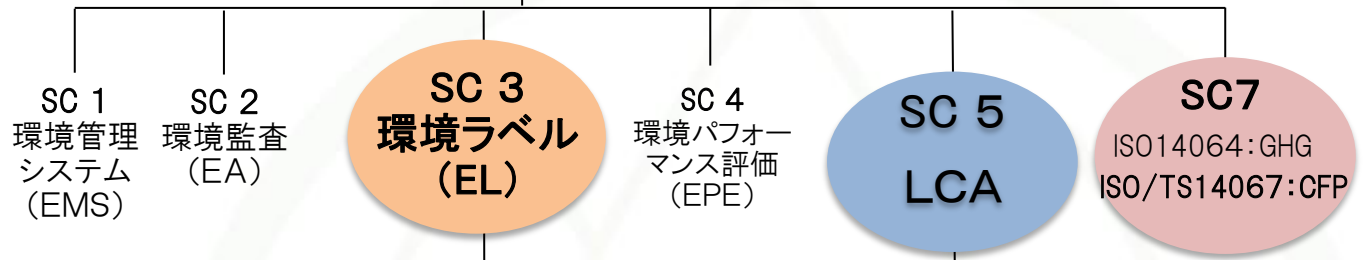
ISO/TS 14027 PCR開発	2017年4月発行予定
ISO 14026 フットプリント 情報コミュニケーション	2017年10月ドラフト完成、2018年10月に発行予定

ISO 14000シリーズにおけるLCAの位置付け

TC: 専門委員会
(Technical Committee)

SC: 分科会
(Sub Committee)

ISO / TC207



ISO14025 タイプⅢ環境ラベル
ISO14026 フットプリント情報コミュニケーション
ISO/TS14027 PCR開発

ISO14040:2006
LCAの原則・枠組み
(LCA実施では14044を参照することが唯一の要求事項)

ISO/TR14049:2012
インベントリ分析(事例)

ISO/TR14047:2012
影響評価(事例)

14044:2006
LCAの実施方法
(LCAの実施で要求される全ての事項を含む)

ISO/TS14048:2002
データの書式

ISO/TR14045:2012
環境効率

ISO/TS14071
クリティカルレビュー
(2014年発行)

ISO/TS14072
組織のLCA
(2015年発行)

ISO14046
ウォーターフットプリント

ISO: 国際標準規格 (International Organization for Standardization)
TR: 標準報告書 (Technical Report)
TS: 標準仕様書 (Technical Specification)

環境ラベルに関するISO規格

ISO国際規格

各種イニシアチブ

算定

SC7

ISO14040
ISO14044

SC5

ISO 14046 (2014年発行)
ウォーターフットプリント
ISO/TS14071 (2014年発行)
クリティカルレビュー

欧州委員会 **環境フットプリント**
PEF算定ガイド

約20品目のパイロット進行中
(2016年末パイロットの終了)

PEFCR/OEFSRの開発(2016年末)

Product Environmental Footprint Category Rules (PEFCR)
Organisation Environmental Footprint Sector Rules (OEFSR)

PCR策定ガイダンス イニシアチブ
(北米地域)

PCR

ISO/TS14067
カーボン
フットプリント
(2013年発行)

SC3

ISO14025
タイプⅢ
環境ラベル (2006年発行)

ISO/TS14027 (**新規提案**)
PCR開発

ISO14024
タイプⅠ
環境ラベル (1999年発行)

ISO14026 (**新規提案**)
フットプリント情報コミュニケーション

欧州委員会 **環境フットプリント**
コミュニケーションについては
各パイロットの中で検討予定

2015年～コミュニケーション方法の検討/提案
2016年～テスト開始

コミュニケーション

ISO14000シリーズの開発状況は、こちら (日本規格協会ウェブサイト内)

http://www.jsa.or.jp/stdz/iso/pdf/develop_14000.pdf

ISO/TC207/SC3/WG5 PCR開発 (ISO/TS 14027)

目的

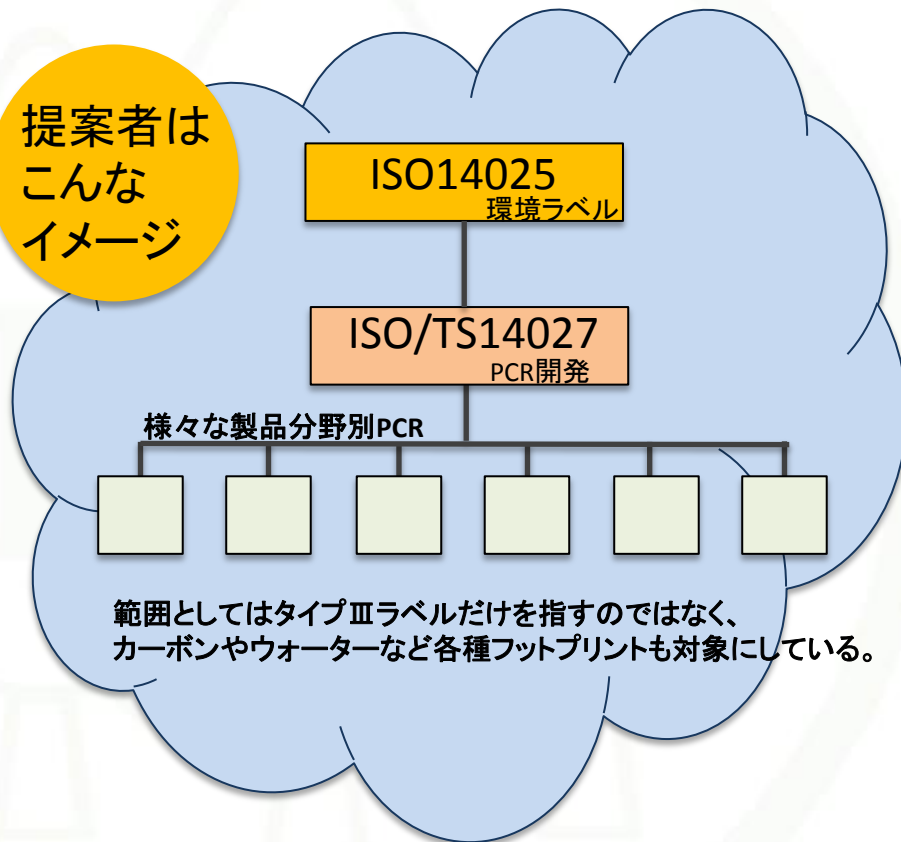
世界中に様々な質のPCRがあふれているので、利用価値や信頼性の低下が心配！
PCR開発/見直しのための手引きや要求事項を規程して、PCRの質を確保していこう！

ドラフトの中身はこんな感じです。

Introduction.....	V
1 Scope.....	1
2 Normative references.....	1
3 Terms and definitions.....	2
4 Symbols and abbreviated terms.....	2
4.1 Units.....	2
4.2 Abbreviated terms.....	2
5 Principles.....	2
5.1 Comparability.....	2
5.2 LCA based information.....	3
5.3 Additional Information not based on LCA.....	3
5.4 Modularity.....	3
5.5 Involvement of interested parties.....	3
6 Development of product category rules.....	4
6.1 General.....	4
6.2 Preparation of the PCR.....	4
6.2.1 Use of existing PCR.....	4
6.2.2 PCR Committee.....	4
6.2.3 Description of the product category.....	4
6.2.4 Procedure for the open consultation.....	5
6.2.5 Structure of the PCR document.....	5
6.3 Pre-determined parameters.....	5
6.4 Application of LCA methodology.....	6
6.4.1 Functional unit / Declared unit.....	7
6.4.2 Information modules.....	7
6.4.3 System boundaries.....	7
6.4.4 Description of data.....	7
6.4.5 Calculation rules.....	7
6.4.6 Allocation.....	7
6.4.7 Criteria for the inclusion of inputs and output.....	7
6.4.8 Data quality requirements.....	7
6.4.9 Reference Service Life.....	7
6.5 Additional environmental information.....	7
7 Reporting.....	8
7.1 General.....	8
7.2 Project report (Source: ISO/CD 21930).....	8
7.2.1 General.....	8
7.3 LCA-related elements of the project report.....	8
7.4 Documentation on additional information.....	9
8 Public communication.....	9
9 PCR review.....	10
Bibliography.....	11

範囲や用語
現存しているPCR
PCRの策定
PCR委員会
製品分野
オープンコンサルの手順
PCR文書の構造
LCA手法の適用
機能単位
システム境界
算定ルール
アロケーション
使用段階
コミュニケーション
PCRレビュー
など.....

提案者は
こんな
イメージ



2015年1月 ベルリン会合にて日本からもコメントを発信。
今回の議論に基づきドラフティングチームが作業継続。
次回はニューデリー会議(2015年9月)にて討議される。

ISO/TC207/SC3/WG6 フットプリント コミュニケーション (ISO14026)

SC3

SC3のスコップ範囲の改定に！
SC3がコミュニケーションに関する分野を引き受けることになった。
「製品・サービスの環境局面のコミュニケーション分野の標準化」とSC3スコップの文言が変更。

・SC3のカナダからSC7へ、「コミュニケーション部分はISO14026で引き受けるので、CFPからコミュニケーション部分を抜いてISO化したらどうか？」と投げかけた。

SC5

ISO 14046
(2014年8月発行)
ウォーターフットプリントには、コミュニケーション部分が入っていない。

SC7

ISO/TS 14067
カーボンフットプリント

コミュニケーション部分が議論となり、ISO化しなかった。
(ISO/TS止まり)

ISO14026 (新規提案) フットプリント情報コミュニケーション

- ・タイプI、III環境ラベルだけでなく、自己宣言によるタイプII環境ラベルについても対象に。
- ・規格の内容の焦点はコミュニケーション(Communication)に留め、定量化(Quantification)については記載しない。

ISO化は2018年10月頃

ISO/TS 14067 カーボンフットプリント

- ① 2015年の見直しに向けてアドホックグループが作成された。イタリアを始めとするISO14067化に向けて意欲がある国が中心となり活動している。
- ② 新規提案(NWIP)が行われると、2015年中に改正に向けて動き出す。
- ③ ただし、投票で否決された場合、「3年後の見直し」時期だった2016年に「継続か廃止か、IS規格に格上げか」について投票が行われる。

ISO会議 SC3タイムライン

2014年5月

2015年1月

2015年9月

パナマ会議

ベルリン会議

ニューデリー会議

新規WG
開設

ISO/TS 14027
ISO14026

2017年4月

ISO/TS 14027発行予定

2018年10月

ISO14026発行予定



↓ 稲葉敦先生

ISOウェブサイト (英語)

<http://www.iso.org/iso/>

ISO 14000ファミリー規格開発状況 (日本語)

http://www.jsa.or.jp/stdz/iso/pdf/develop_14000.pdf